

当院水痘患者における水痘ワクチン接種歴

たかのこどもクリニック

高野智子



はじめに

- 2014年10月より水痘ワクチンが定期接種化され水痘患者は減少したが、現在も局所的な水痘の発生を認める。
- 当院を受診した水痘患者の水痘ワクチン接種歴を調査した。

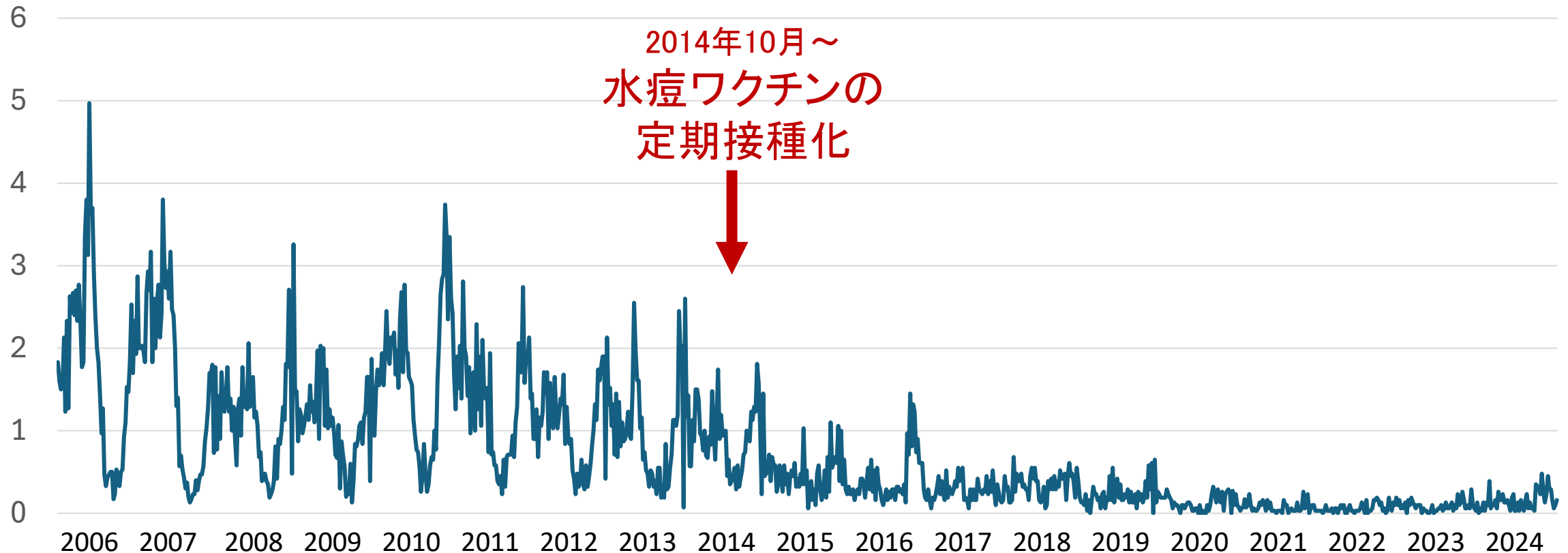


方法

- 当院において2020年8月～2024年10月に水痘と診断した患者をカルテより後方視的に調査した。
- 神戸市における水痘の発生動向は、神戸市感染症統合情報システムの定点把握疾患集計のデータを使用した。



神戸市における水痘の定点当たり報告数

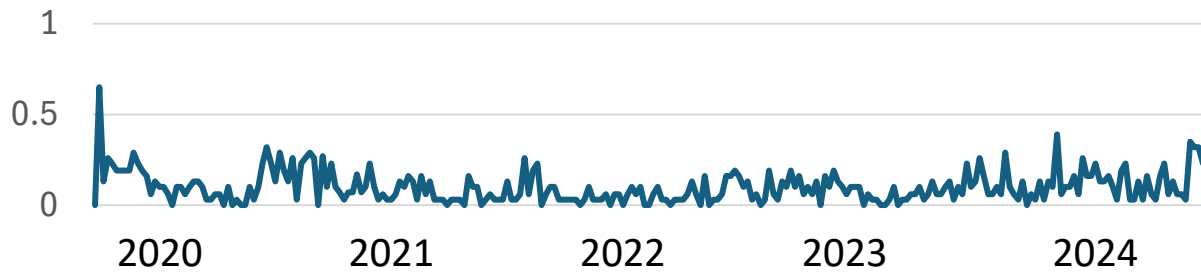


神戸市感染症統合情報システムの定点把握疾患集計

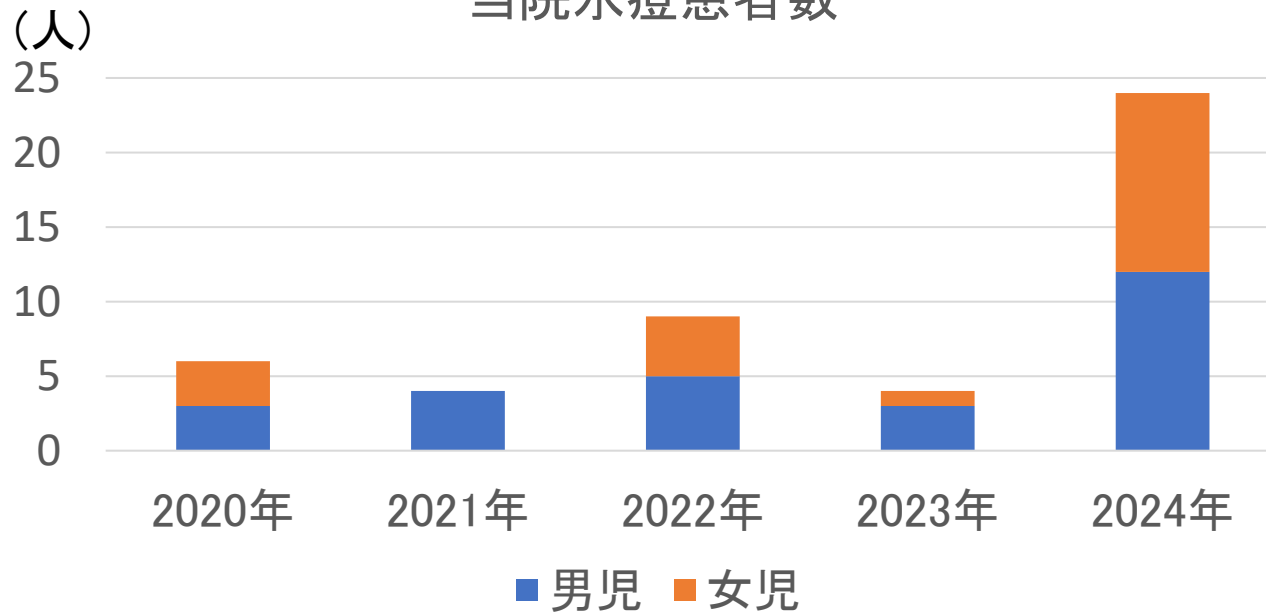


当クリニックにおける水痘患者数

2020-2024年神戸市の水痘定点当たりの報告数



当院水痘患者数



水痘患者数 47名

男児 27名

年齢 中央値7歳(0~16歳)

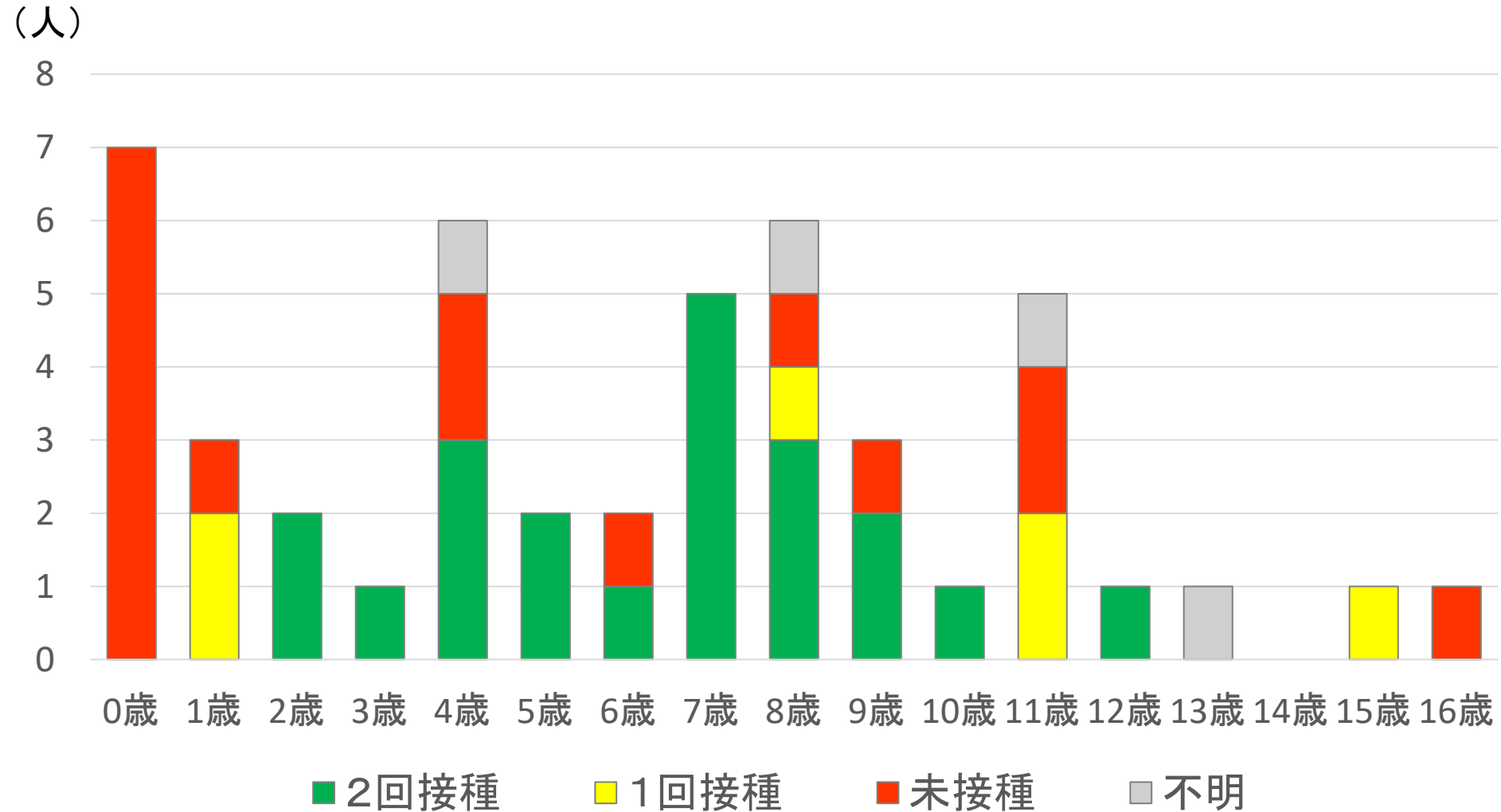
臨床診断 8例

VZV抗原検査陽性 39例

(2021年9月~)

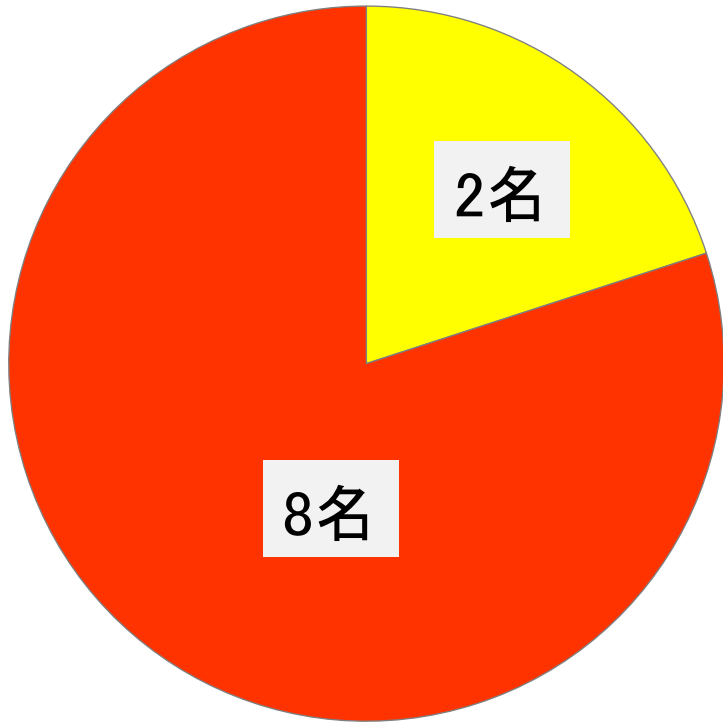


年齢別水痘患者数とワクチン接種回数

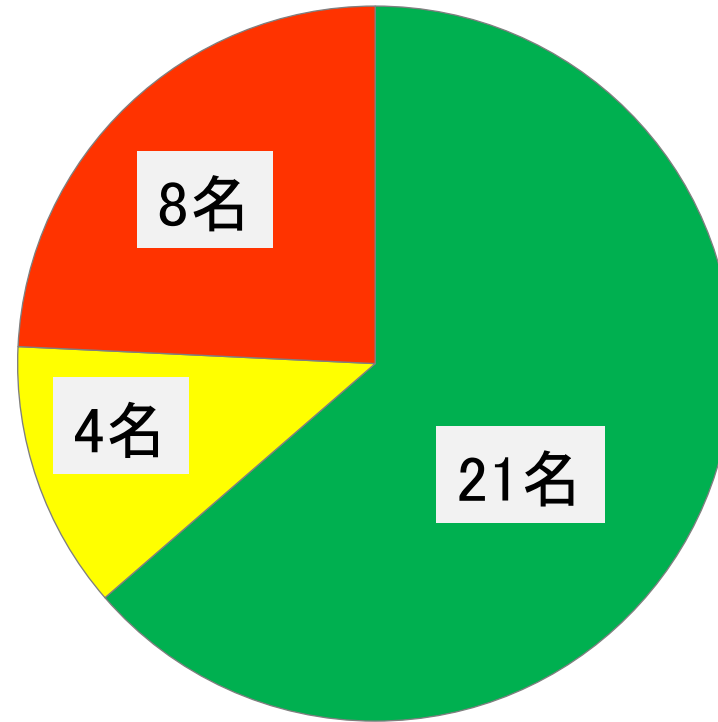


ワクチン接種回数

0～1歳（10名）



2～16歳（接種回数不明4例除く33名）



2歳以上の水痘患者の
76%は1回以上水痘ワクチン接種あり

■ 2回接種 ■ 1回接種 ■ 未接種

■ 2回接種 ■ 1回接種 ■ 未接種



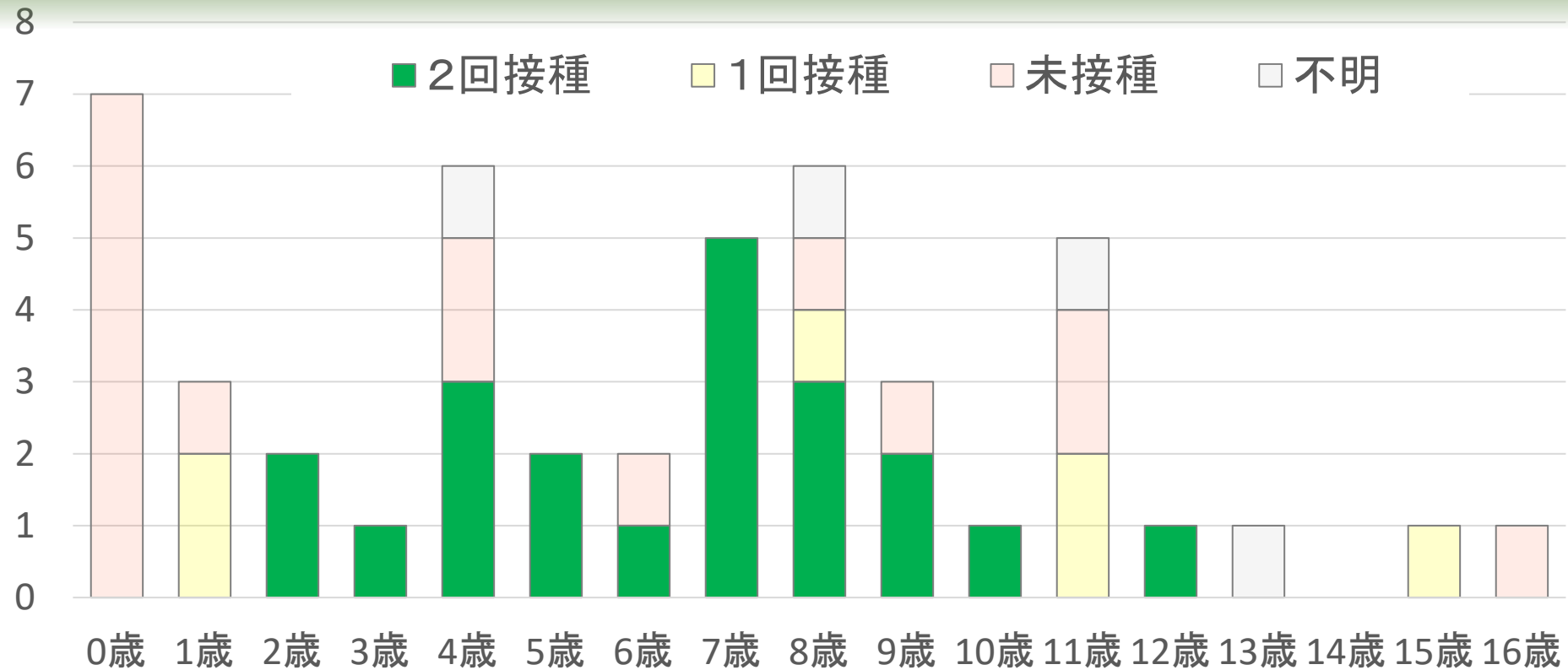
ワクチン接種群と未接種群による症状の違い

	接種あり	未接種	p値
発熱あり／なし	15／12	10／6	n.s.
最高体温	38 (37.4-39.4)	38.1 (37.5-39.6)	n.s.
発熱期間	1 (0-5)	2.5 (0-4)	0.058
病院へ紹介	0	1 (水疱疹から蜂窩織炎)	

少人数では未接種者でも重症例はなかった



水痘ワクチン2回接種者の水痘罹患年齢



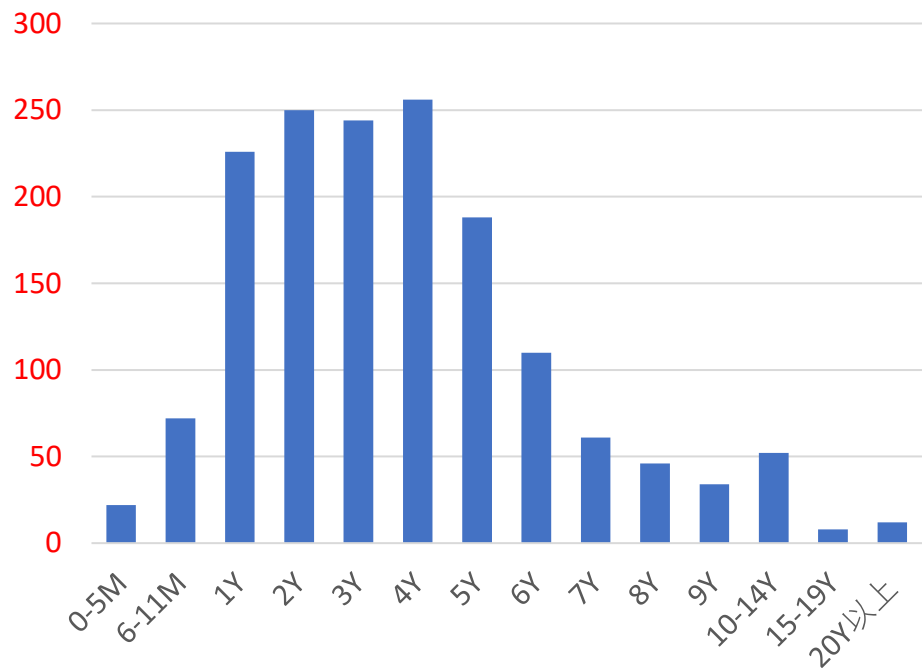
1次性ワクチン効果不全

2次性ワクチン効果不全



神戸市年齢別発生動向の推移

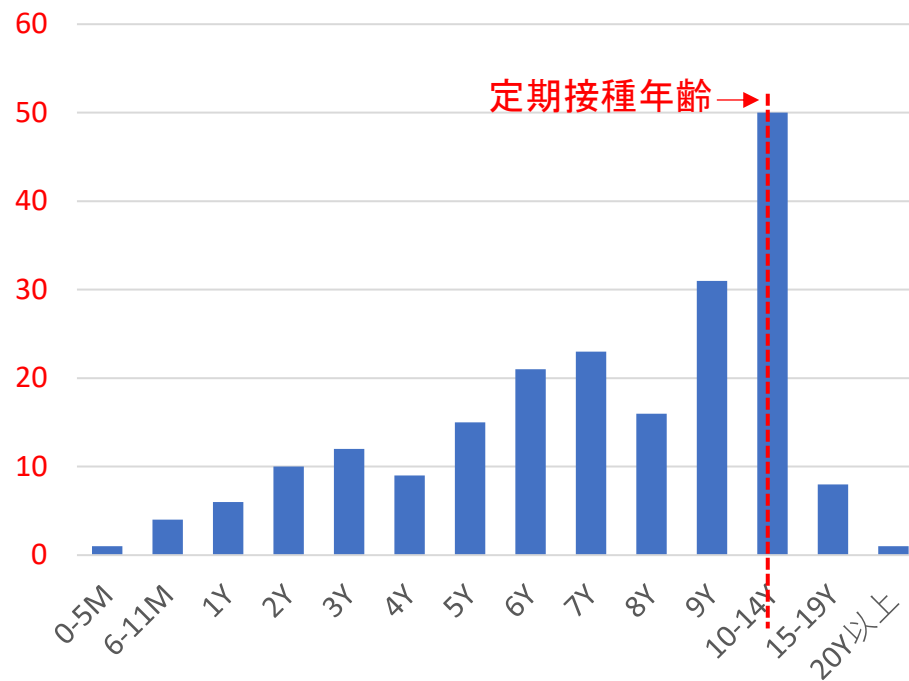
2013年(1581人/年)



2014年10月

水痘ワクチン定期接種

2024年(207人/年)



まとめ

- 2～16歳の水痘患者の76%は1回以上水痘ワクチンを接種していた。
- 水痘ワクチン未接種の水痘患者では、接種者に比べ発熱期間が長い傾向にあった。
- 学童期の水痘発生例が相対的に増えており、ワクチン接種者の中には2次性ワクチン効果不全になっている例があると考える。
- 水痘ワクチンの2回目接種時期を議論していいかもしれない。

